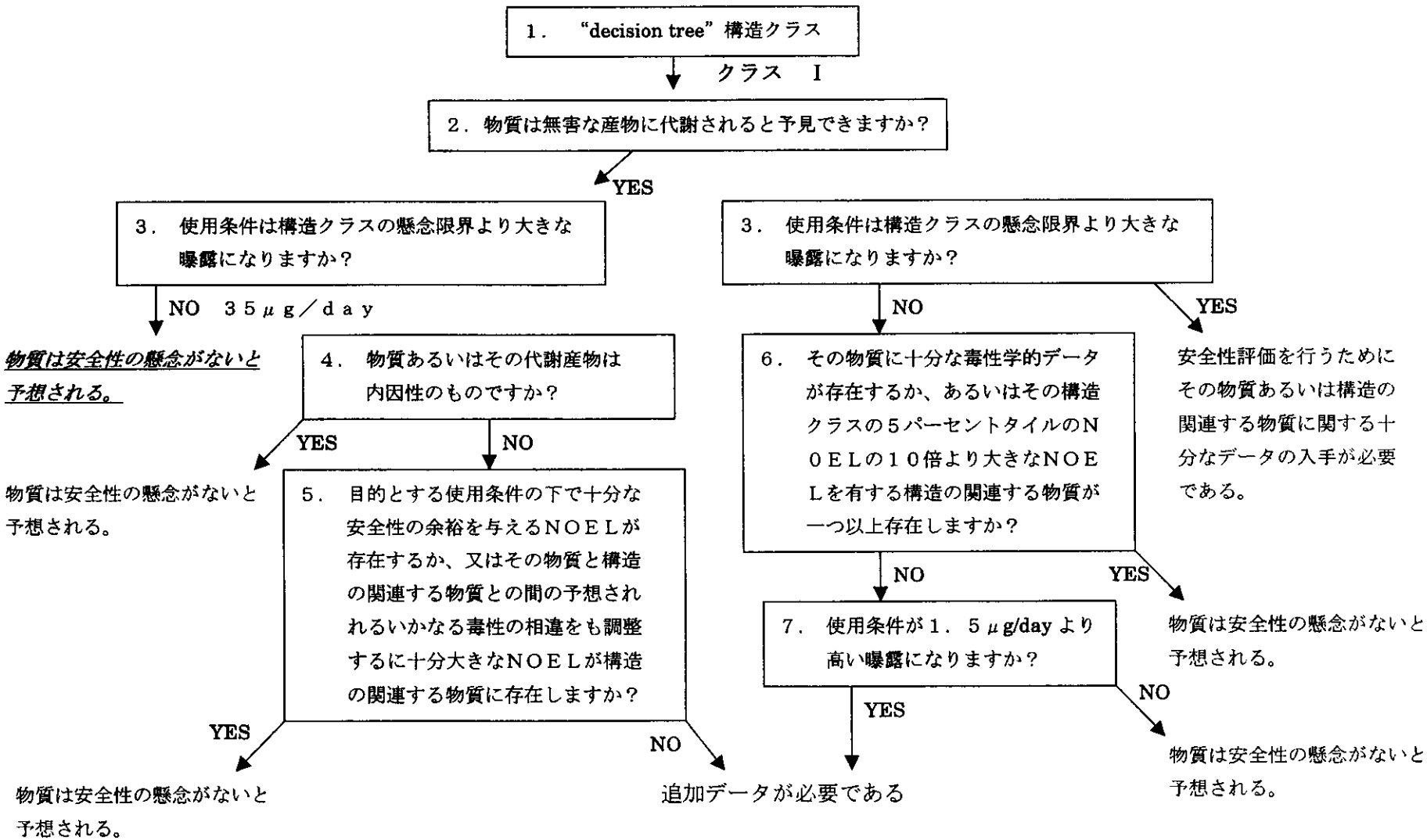
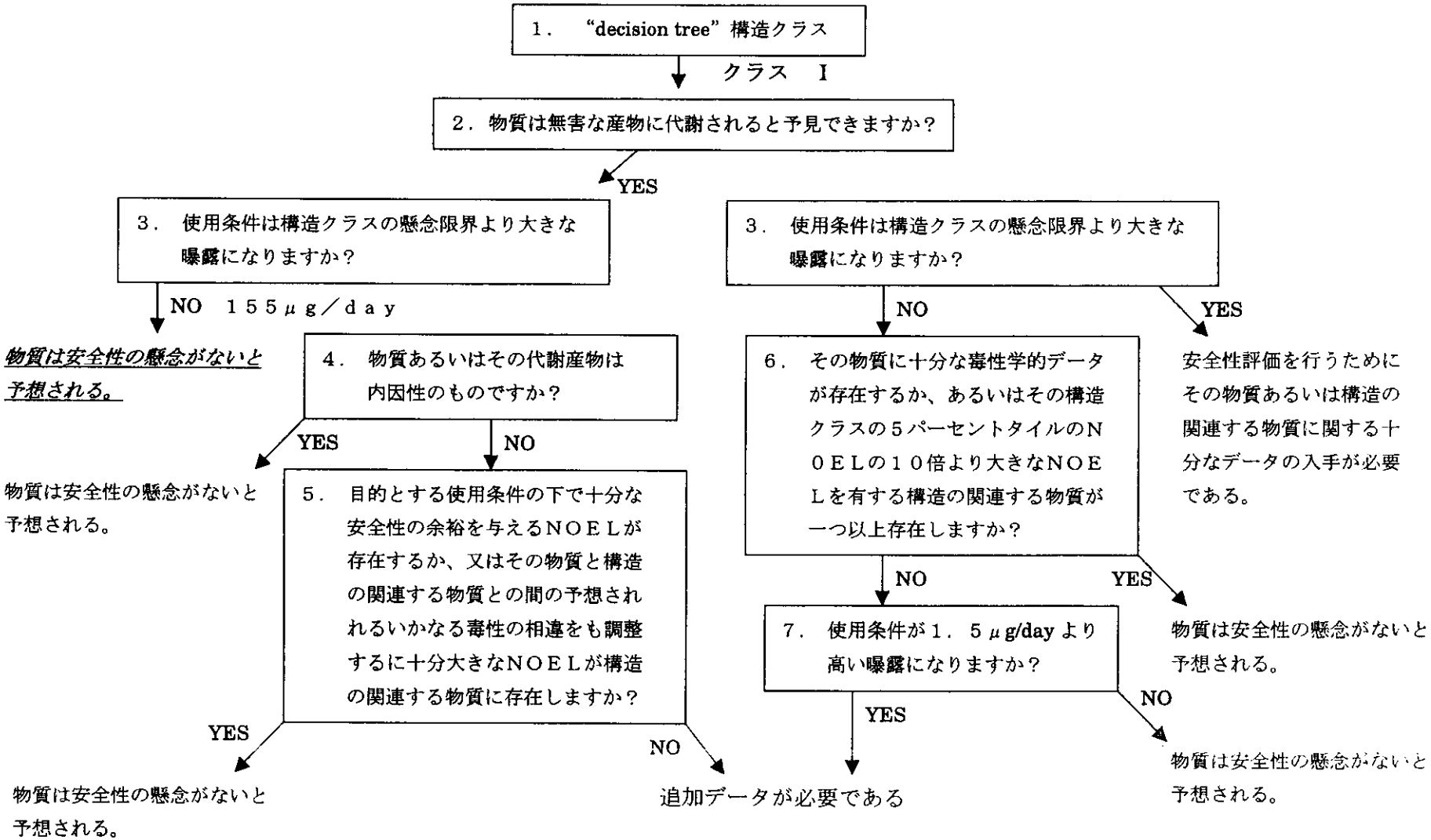
資料 10

ケイ皮酸


1．“decision tree”構造クラス
クラス Ⅰ
2．物質は無害な産物に代謝されると予見できますか？
YES
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO 35μg／day
物質は安全性の懸念がないと予想される。
4．物質あるいはその代謝産物は内因性のものですか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
5．目的とする使用条件の下で十分な安全性の余裕を与えるNOELが存在するか、又はその物質と構造の関連する物質との間の予想されれるいかなる毒性の相違をも調整するに十分大きなNOELが構造の関連する物質に存在しますか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
追加データが必要である
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO
YES
安全性評価を行うためにその物質あるいは構造の関連する物質に関する十分なデータの入手が必要である。
6．その物質に十分な毒性学的データが存在するか、あるいはその構造クラスの5パーセントタイルのNOELの10倍より大きなNOELを有する構造の関連する物質が一つ以上存在しますか？
NO
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
7．使用条件が1．5μg/dayより高い曝露になりますか？
YES
NO
物質は安全性の懸念がないと予想される。

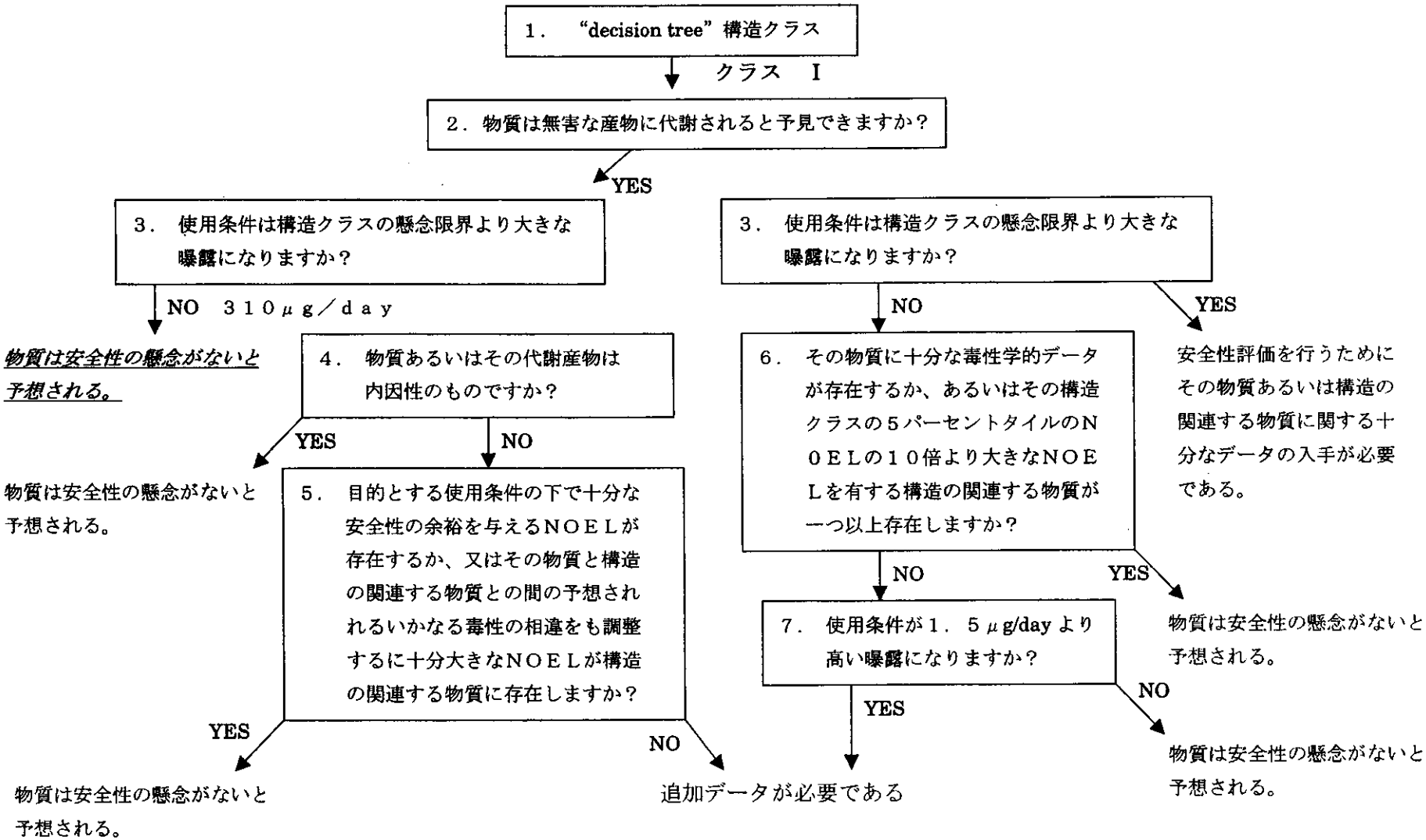
資料 10

ケイ皮酸エチル



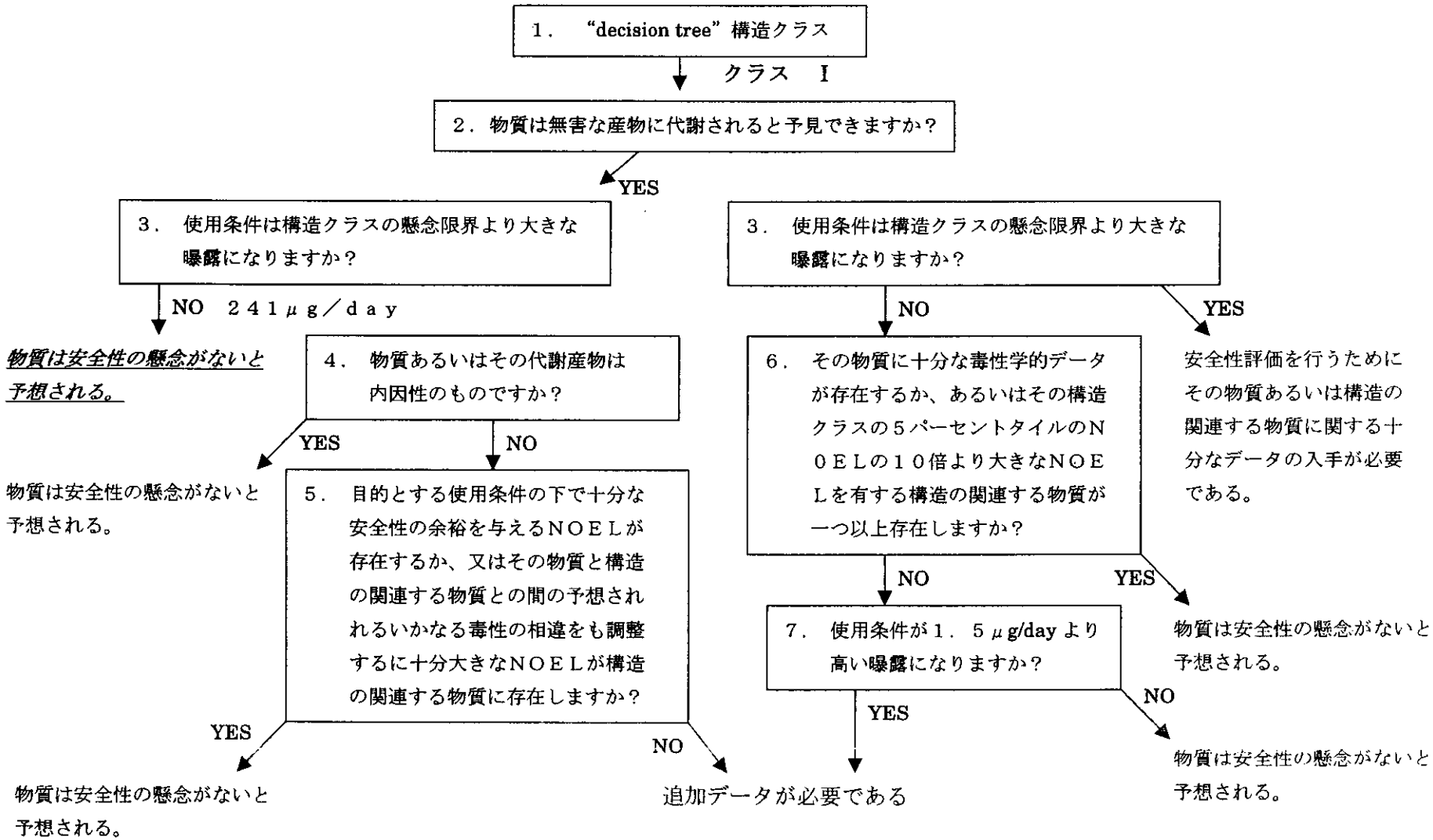
資料 10

ケイ皮酸メチル



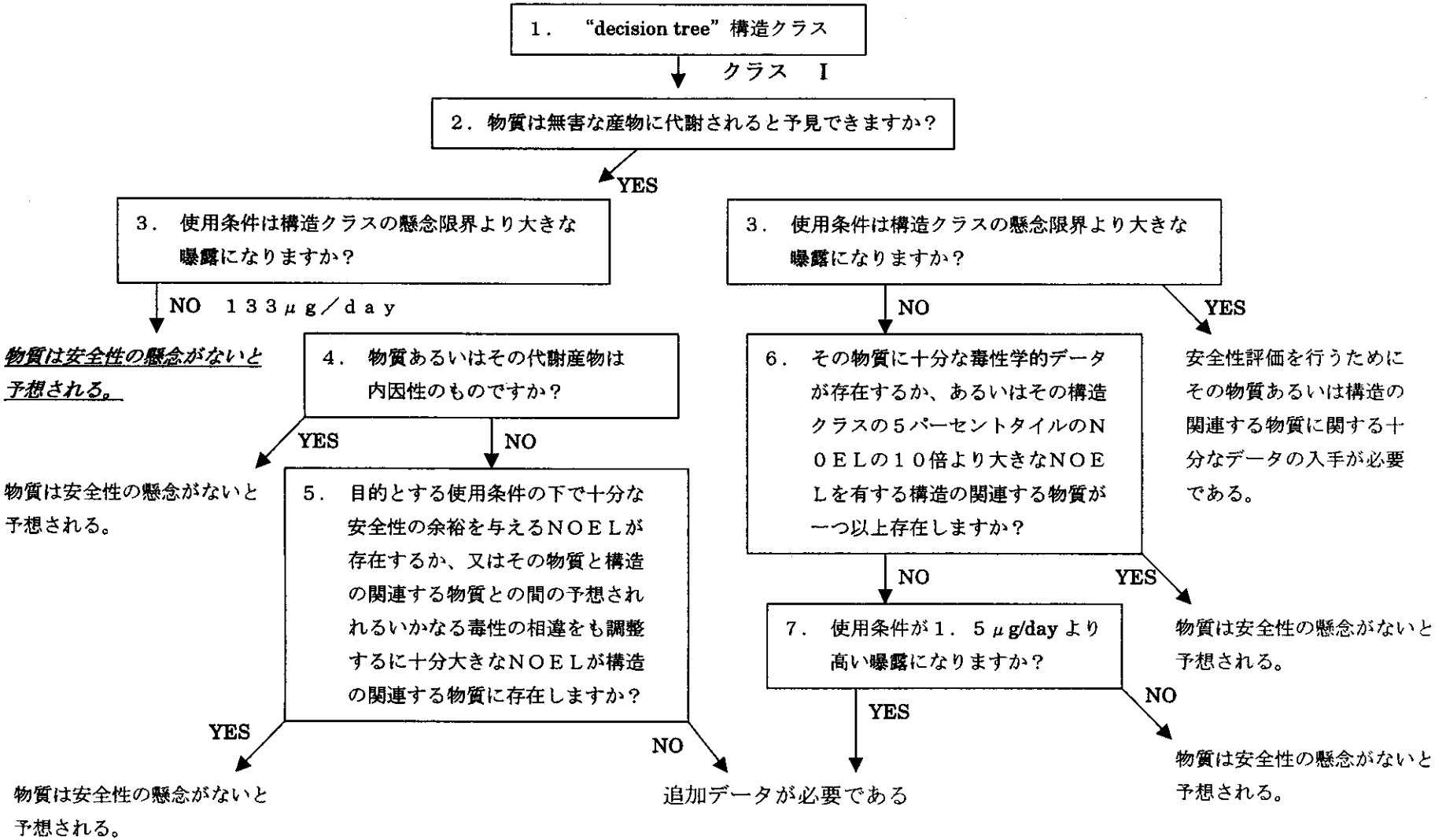
資料 10

酢酸ゲラニル


1．“decision tree”構造クラス
クラス　I
2．物質は無害な産物に代謝されると予見できますか？
YES
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO　２４１μｇ／ｄａｙ
物質は安全性の懸念がないと予想される。
4．物質あるいはその代謝産物は内因性のものですか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
5．目的とする使用条件の下で十分な安全性の余裕を与えるＮＯＥＬが存在するか、又はその物質と構造の関連する物質との間の予想されれるいかなる毒性の相違をも調整するに十分大きなＮＯＥＬが構造の関連する物質に存在しますか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
追加データが必要である
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO
YES
安全性評価を行うためにその物質あるいは構造の関連する物質に関する十分なデータの入手が必要である。
6．その物質に十分な毒性学的データが存在するか、あるいはその構造クラスの５パーセントタイルのＮＯＥＬの１０倍より大きなＮＯＥＬを有する構造の関連する物質が一つ以上存在しますか？
NO
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
7．使用条件が１．５μg/day より高い曝露になりますか？
YES
追加データが必要である
NO
物質は安全性の懸念がないと予想される。

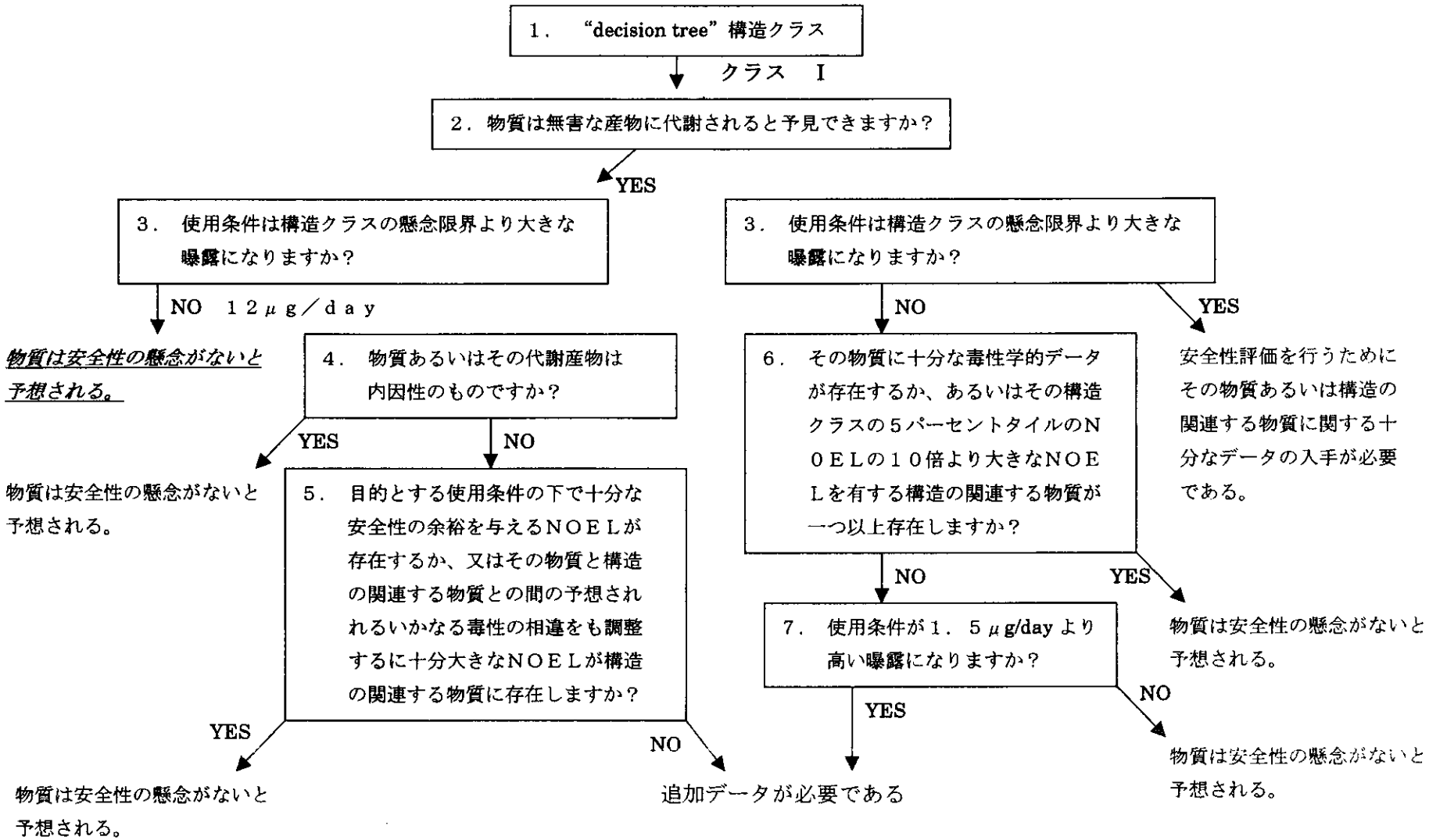
資料 10

酢酸シトロネリル



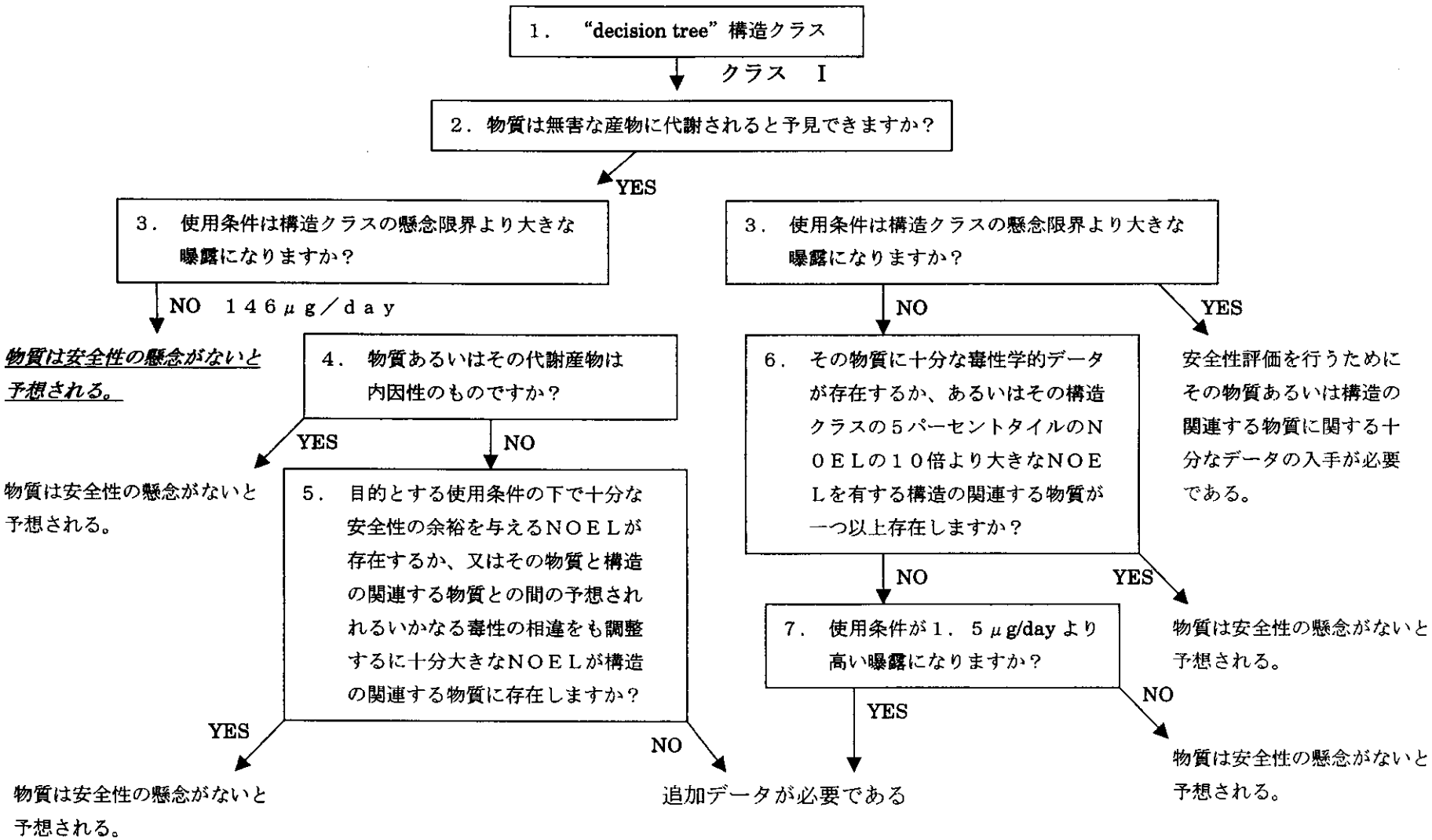
資料 10

酢酸シンナミル



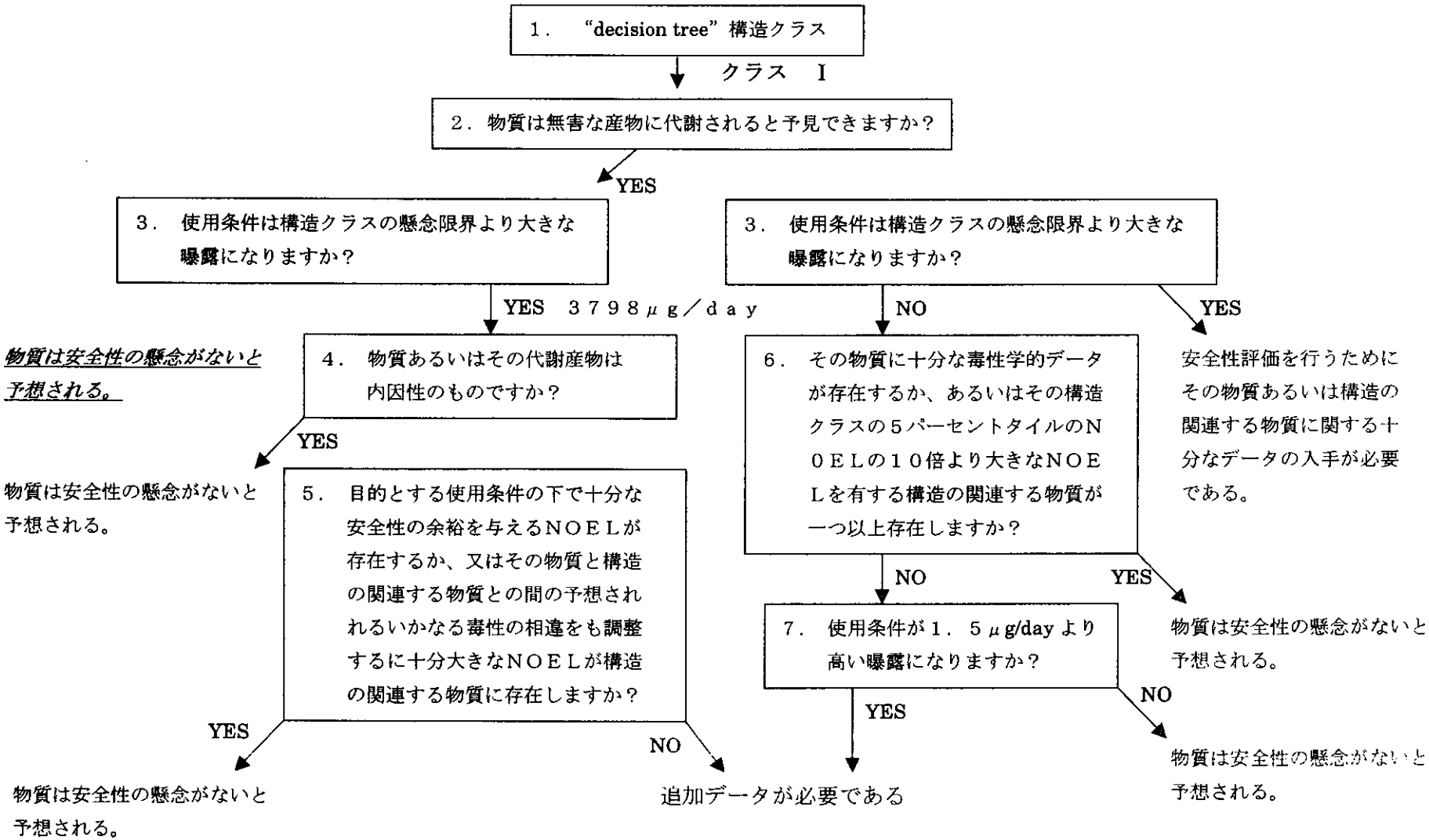
資料 10

酢酸テルペニル



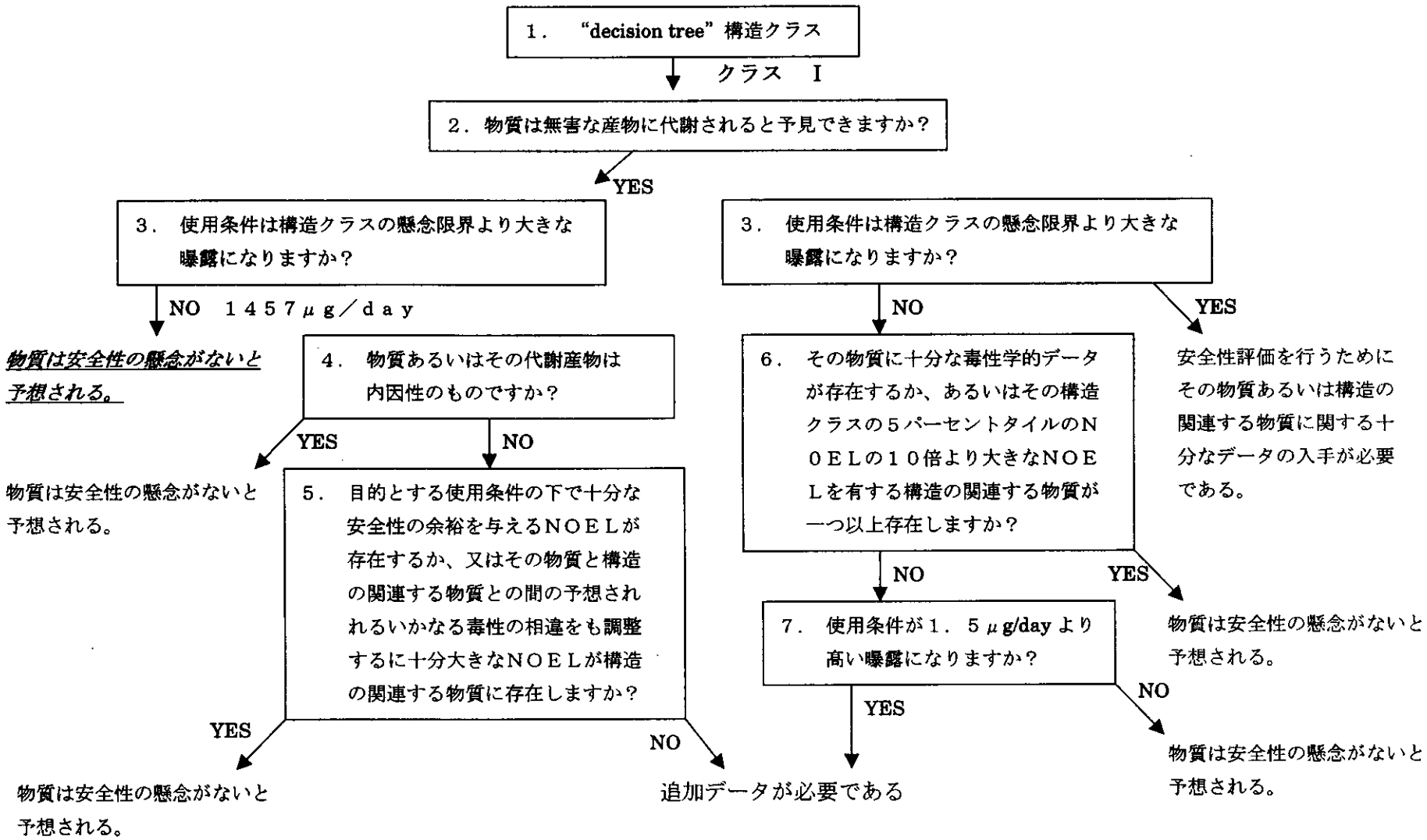
資料 10

酢酸ブチル


1．“decision tree”構造クラス
クラス　I
2．物質は無害な産物に代謝されると予見できますか？
YES
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
YES　３７９８μｇ／ｄａｙ
4．物質あるいはその代謝産物は内因性のものですか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
5．目的とする使用条件の下で十分な安全性の余裕を与えるＮＯＥＬが存在するか、又はその物質と構造の関連する物質との間の予想されれるいかなる毒性の相違をも調整するに十分大きなＮＯＥＬが構造の関連する物質に存在しますか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
追加データが必要である
物質は安全性の懸念がないと予想される。
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO
6．その物質に十分な毒性学的データが存在するか、あるいはその構造クラスの５パーセントタイルのＮＯＥＬの１０倍より大きなＮＯＥＬを有する構造の関連する物質が一つ以上存在しますか？
NO
7．使用条件が１．５μg/day より高い曝露になりますか？
YES
NO
物質は安全性の懸念がないと予想される。
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
YES
安全性評価を行うためにその物質あるいは構造の関連する物質に関する十分なデータの入手が必要である。

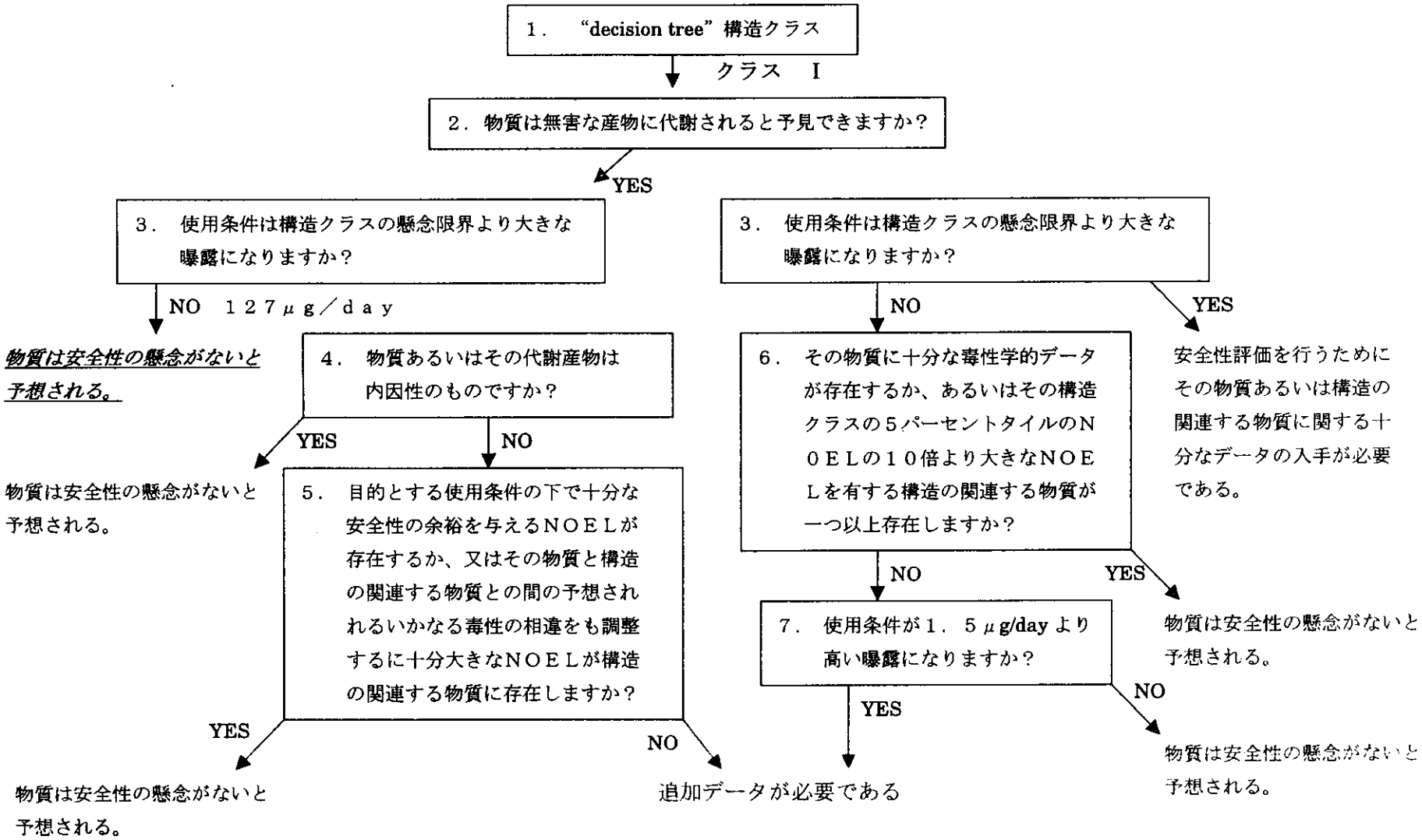
資料 10

酢酸１－メンチル



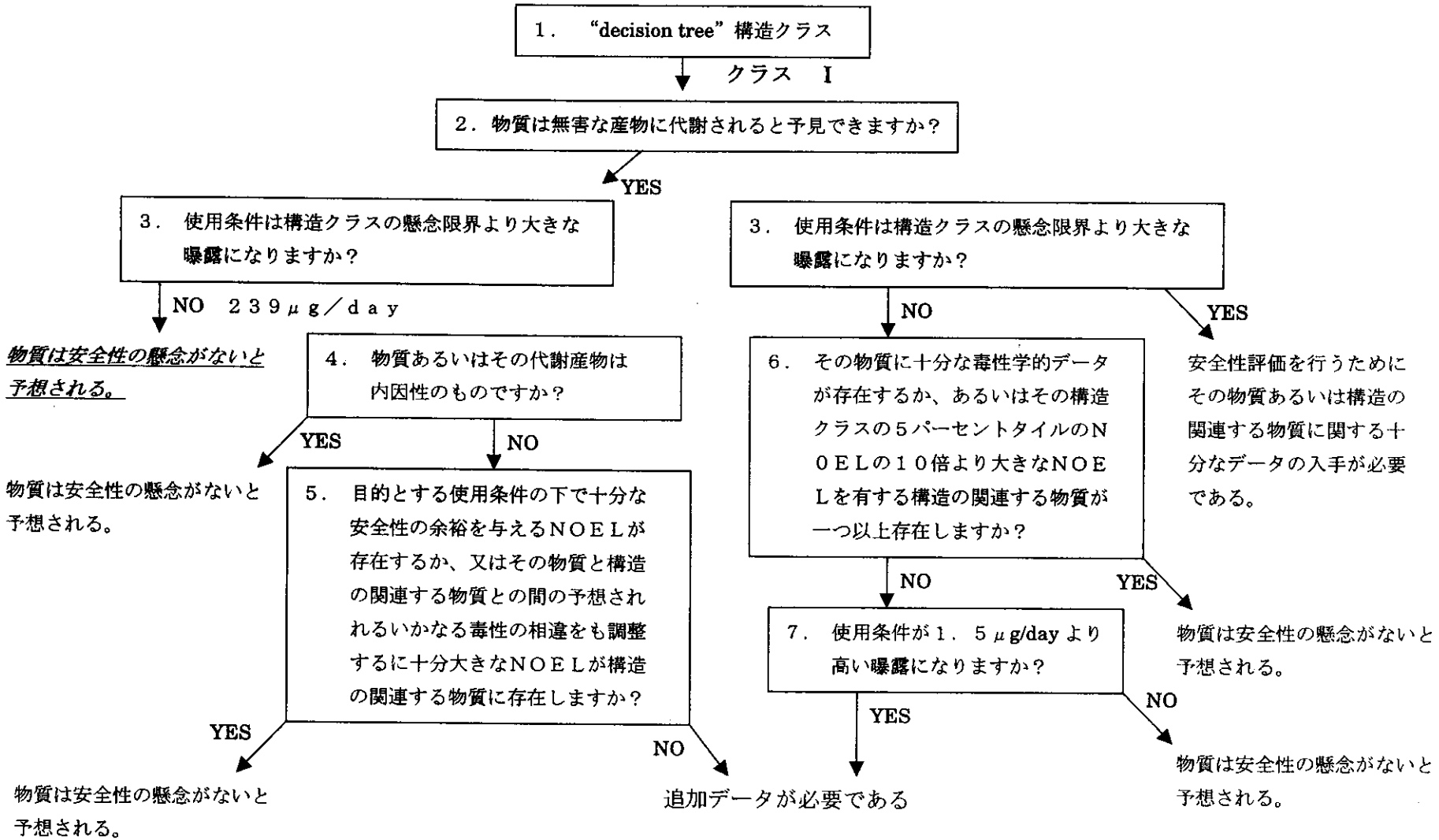
資料 10

酢酸リナリル


1．“decision tree”構造クラス
クラス　I
2．物質は無害な産物に代謝されると予見できますか？
YES
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO　１２７μｇ／ｄａｙ
物質は安全性の懸念がないと予想される。
4．物質あるいはその代謝産物は内因性のものですか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
5．目的とする使用条件の下で十分な安全性の余裕を与えるＮＯＥＬが存在するか、又はその物質と構造の関連する物質との間の予想されれるいかなる毒性の相違をも調整するに十分大きなＮＯＥＬが構造の関連する物質に存在しますか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
追加データが必要である
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO
6．その物質に十分な毒性学的データが存在するか、あるいはその構造クラスの５パーセントタイルのＮＯＥＬの１０倍より大きなＮＯＥＬを有する構造の関連する物質が一つ以上存在しますか？
NO
7．使用条件が１．５μg/day より高い曝露になりますか？
YES
追加データが必要である
NO
物質は安全性の懸念がないと予想される。
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
YES
安全性評価を行うためにその物質あるいは構造の関連する物質に関する十分なデータの入手が必要である。

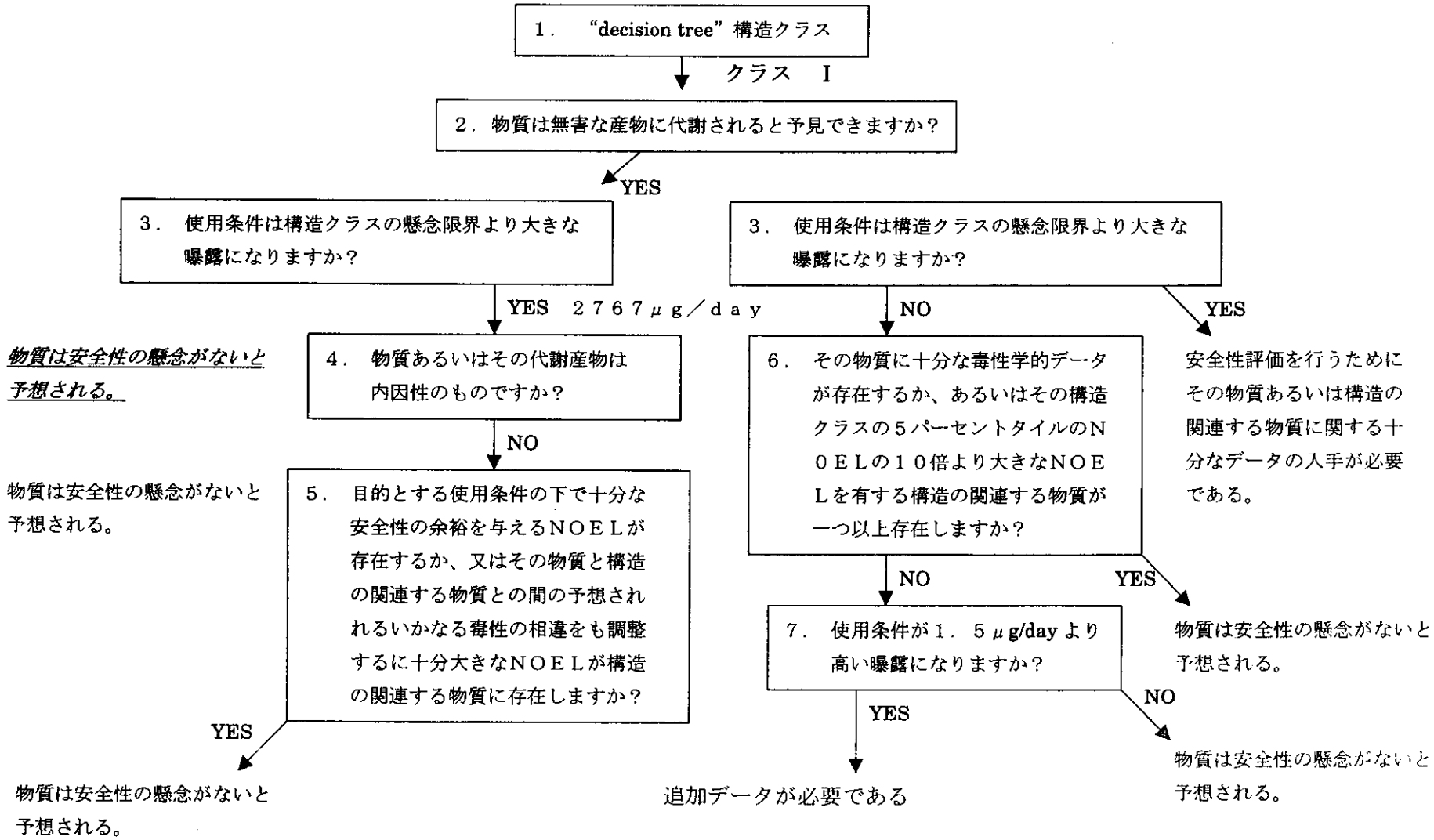
資料 10

シンナムアルコール



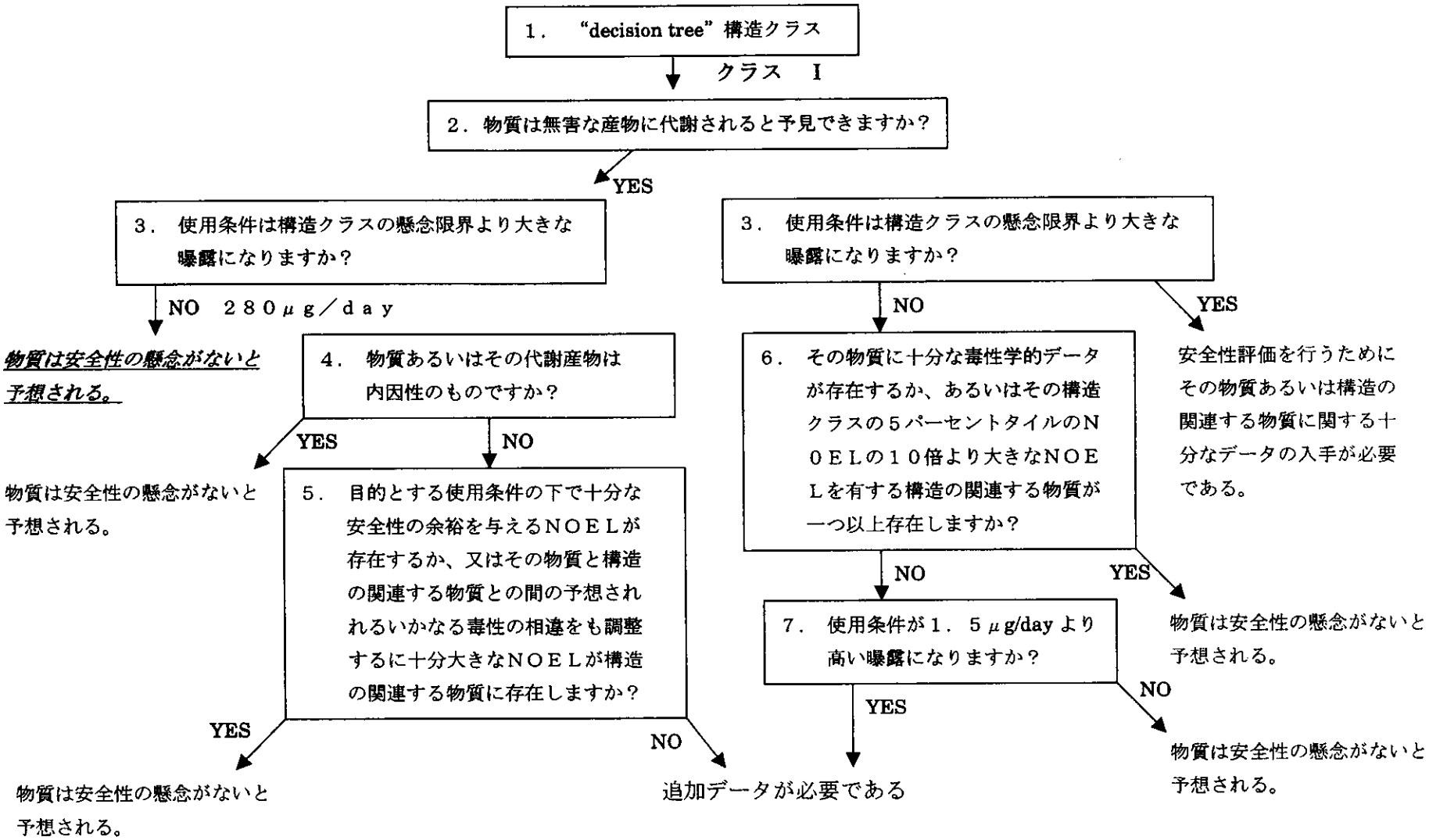
資料 10

シンナムアルデヒド



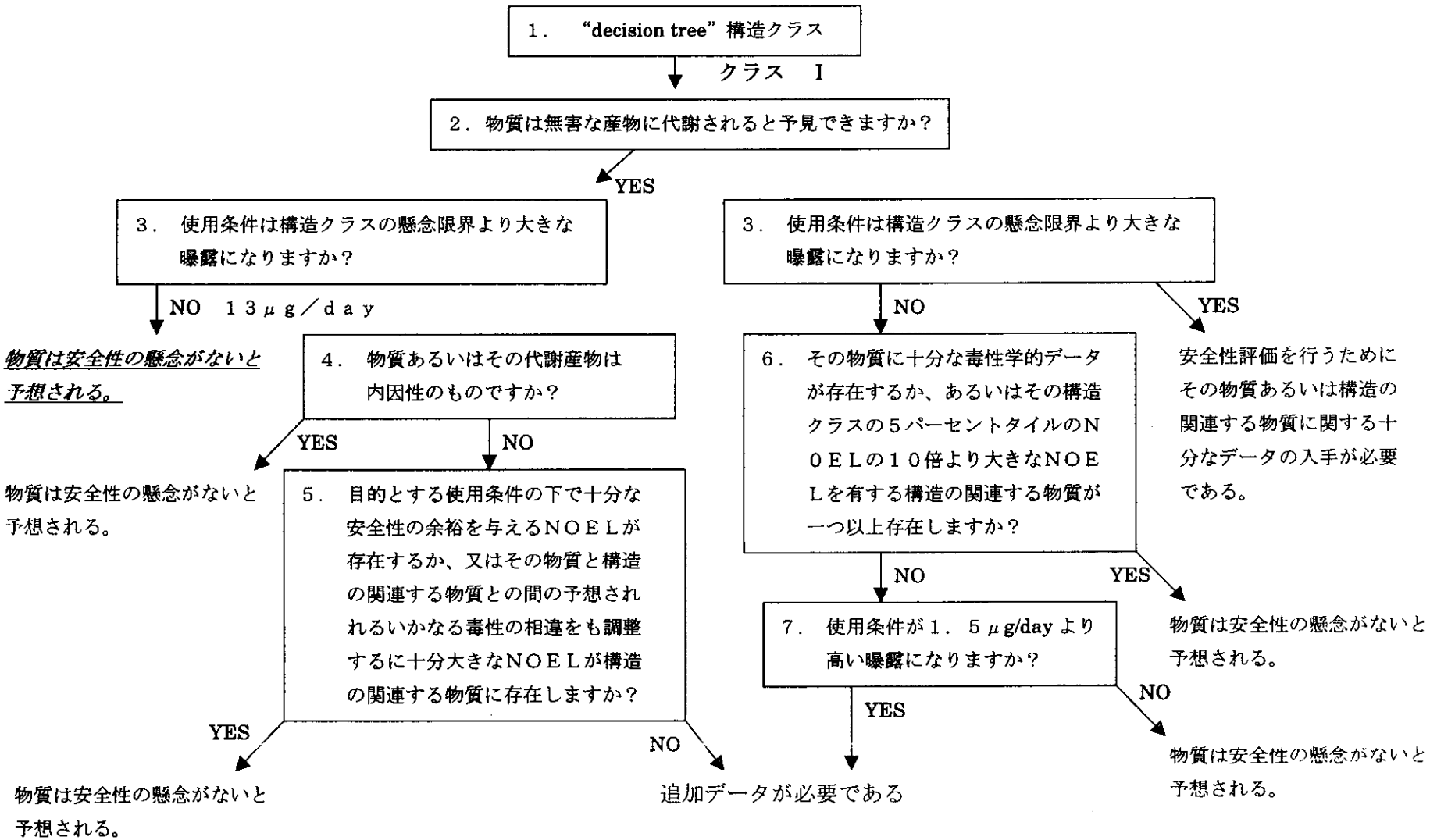
資料 10

デカナール


1．“decision tree”構造クラス
クラス　I
2．物質は無害な産物に代謝されると予見できますか？
YES
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO　２８０μｇ／ｄａｙ
物質は安全性の懸念がないと予想される。
4．物質あるいはその代謝産物は内因性のものですか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
5．目的とする使用条件の下で十分な安全性の余裕を与えるＮＯＥＬが存在するか、又はその物質と構造の関連する物質との間の予想されれるいかなる毒性の相違をも調整するに十分大きなＮＯＥＬが構造の関連する物質に存在しますか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
追加データが必要である
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO
YES
安全性評価を行うためにその物質あるいは構造の関連する物質に関する十分なデータの入手が必要である。
6．その物質に十分な毒性学的データが存在するか、あるいはその構造クラスの５パーセントタイルのＮＯＥＬの１０倍より大きなＮＯＥＬを有する構造の関連する物質が一つ以上存在しますか？
NO
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
7．使用条件が１．５μg/day より高い曝露になりますか？
YES
追加データが必要である
NO
物質は安全性の懸念がないと予想される。

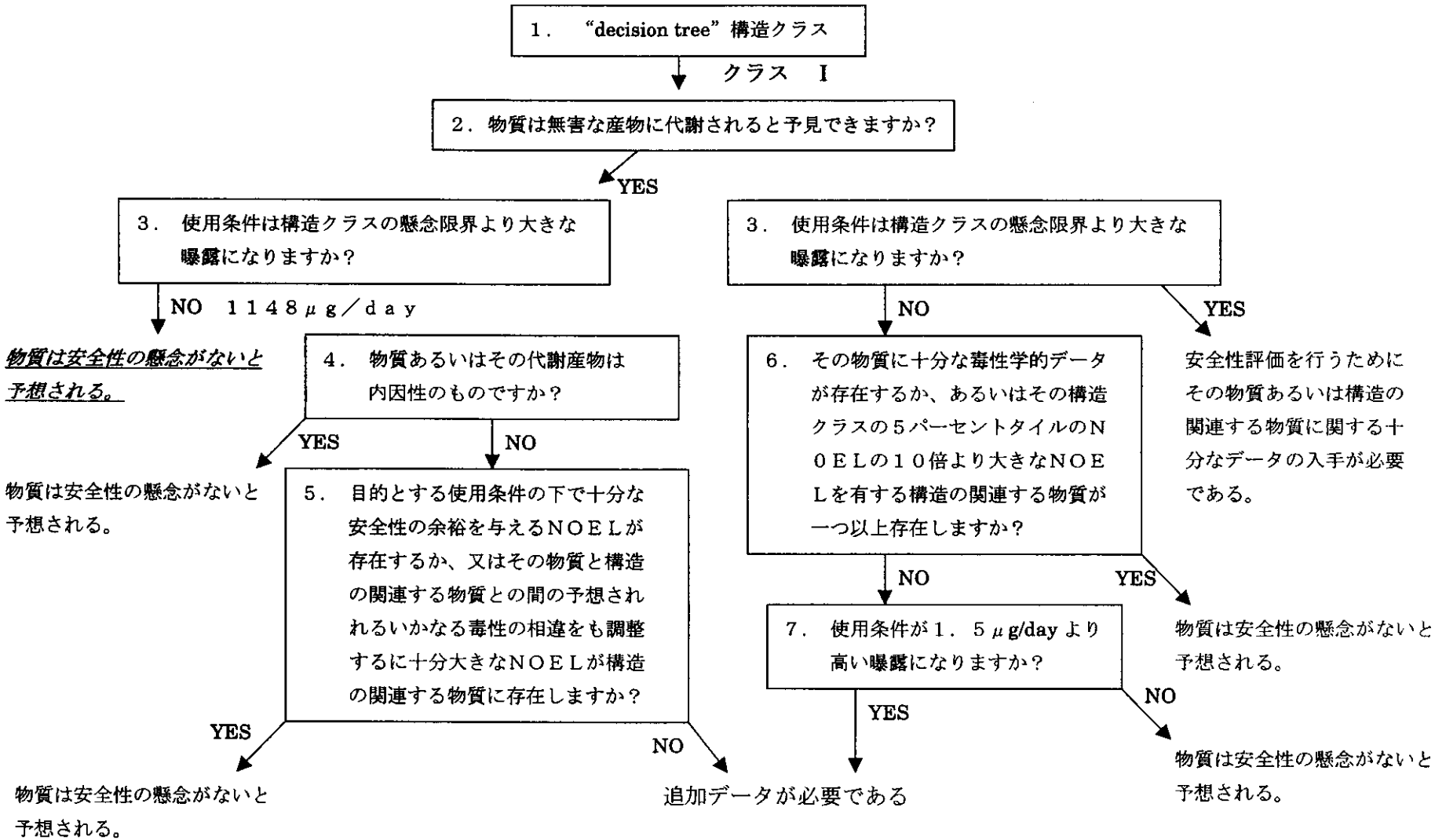
資料 10

デカノール


1．“decision tree”構造クラス
クラス　I
2．物質は無害な産物に代謝されると予見できますか？
YES
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO　13μg／day
物質は安全性の懸念がないと予想される。
4．物質あるいはその代謝産物は内因性のものですか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
5．目的とする使用条件の下で十分な安全性の余裕を与えるNOELが存在するか、又はその物質と構造の関連する物質との間の予想されれるいかなる毒性の相違をも調整するに十分大きなNOELが構造の関連する物質に存在しますか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
追加データが必要である
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO
6．その物質に十分な毒性学的データが存在するか、あるいはその構造クラスの5パーセントタイルのNOELの10倍より大きなNOELを有する構造の関連する物質が一つ以上存在しますか？
NO
7．使用条件が1．5μg/day より高い曝露になりますか？
YES
追加データが必要である
NO
物質は安全性の懸念がないと予想される。
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
YES
安全性評価を行うためにその物質あるいは構造の関連する物質に関する十分なデータの入手が必要である。

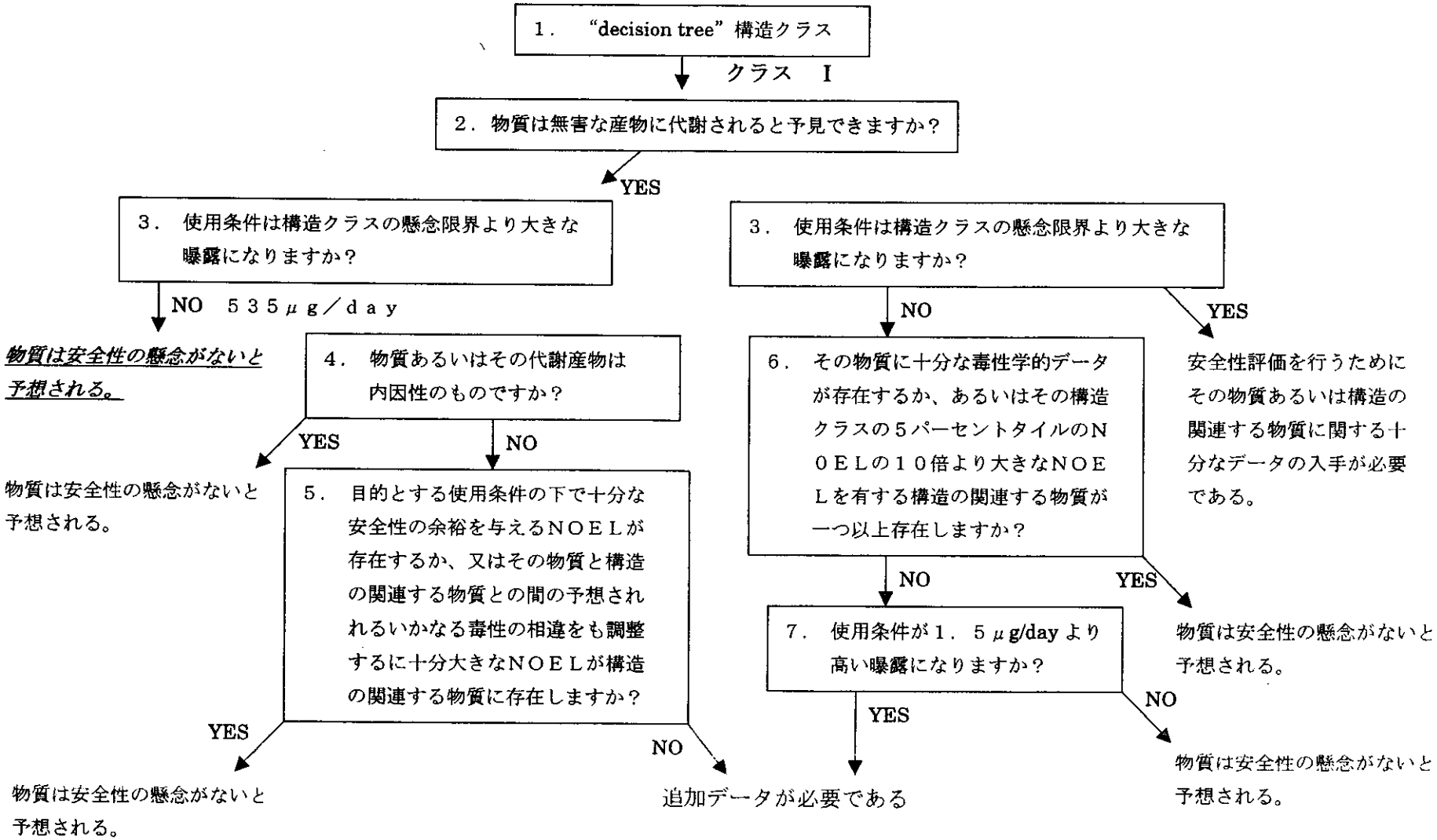
資料 10

テルピネオール



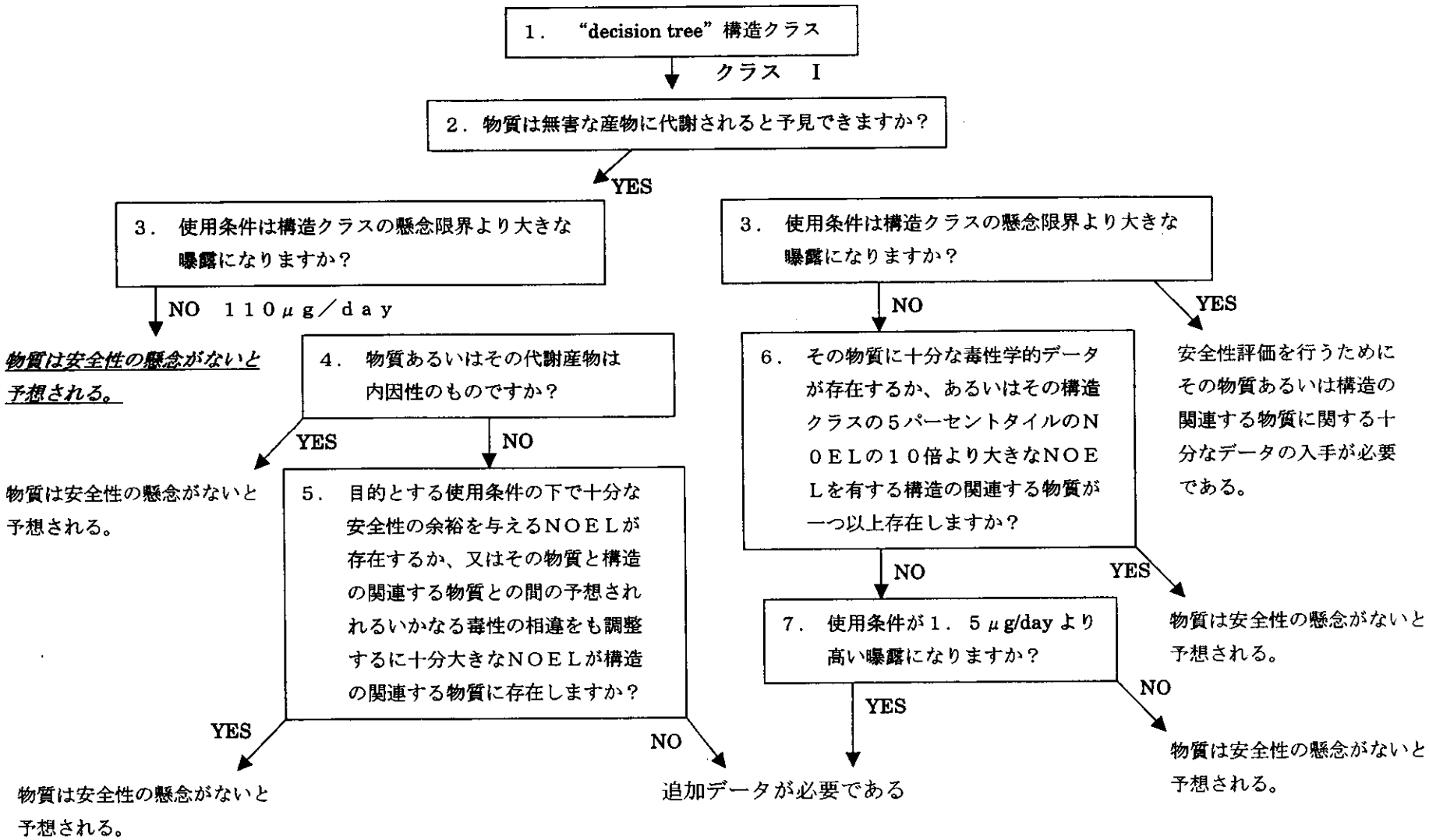
資料 10

γ－ノナラクトン



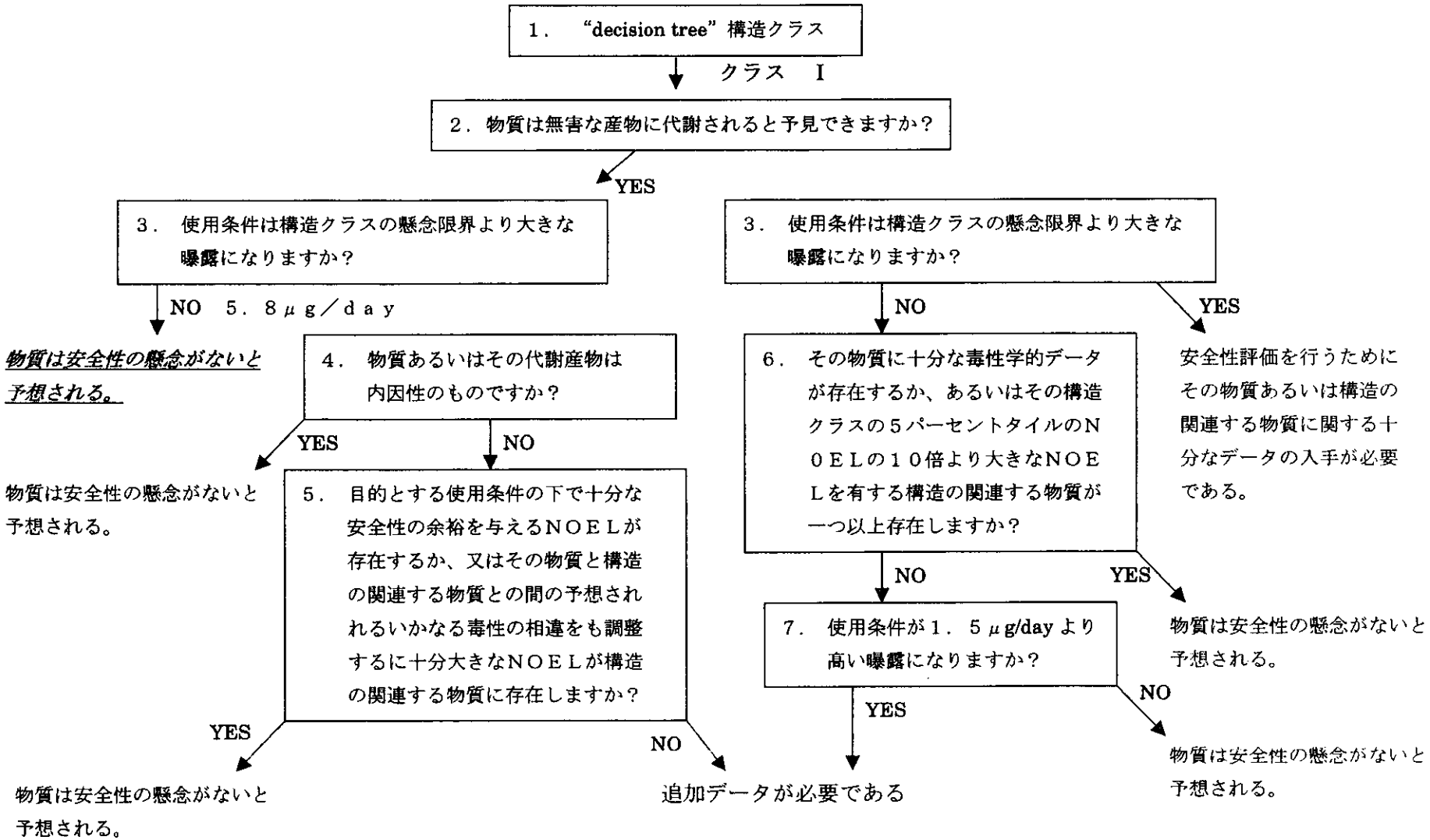
資料 10

ヒドロキシシトロネラール



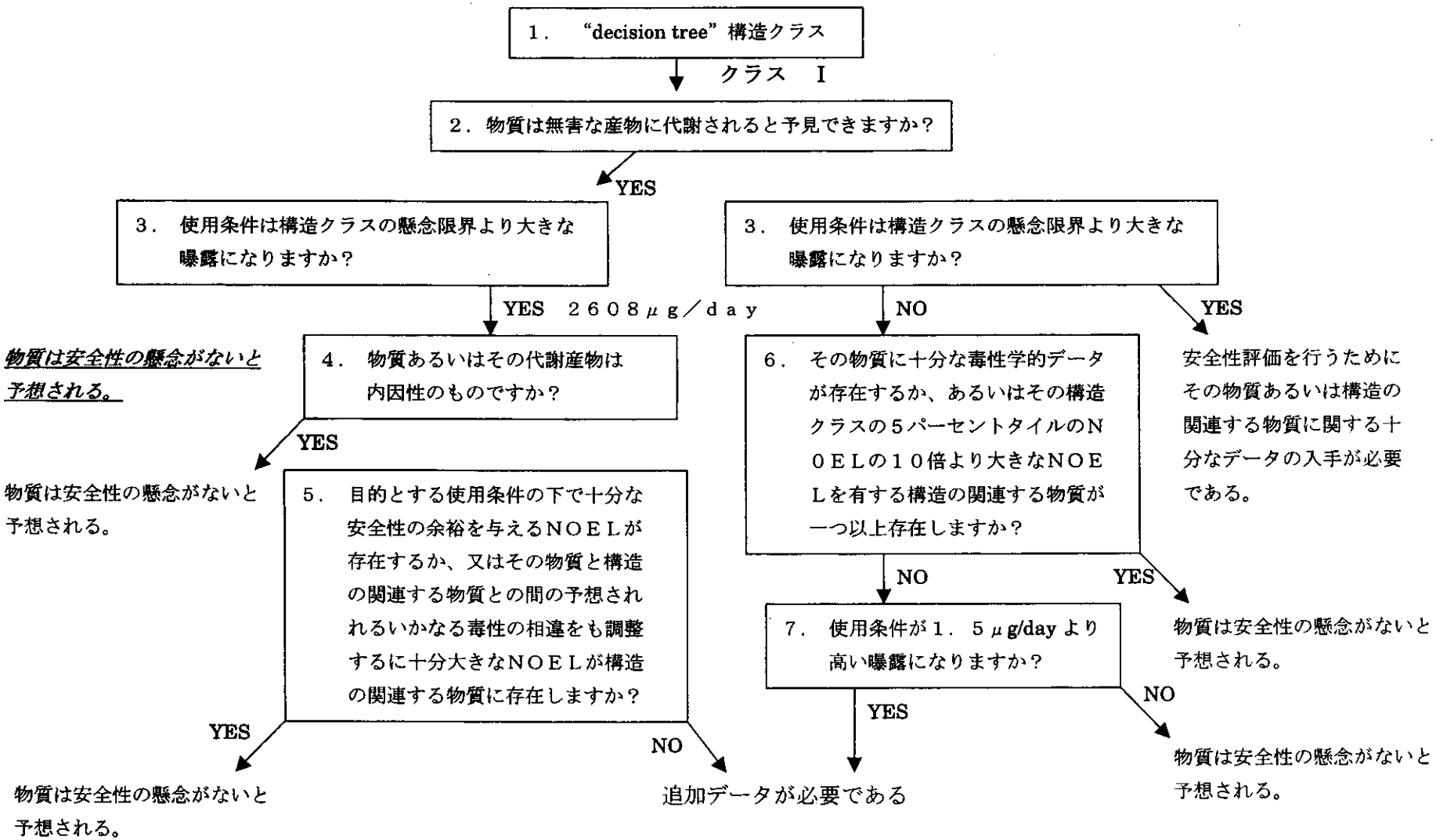
資料 10

ヒドロキシシトロネラールジメチルアセタール



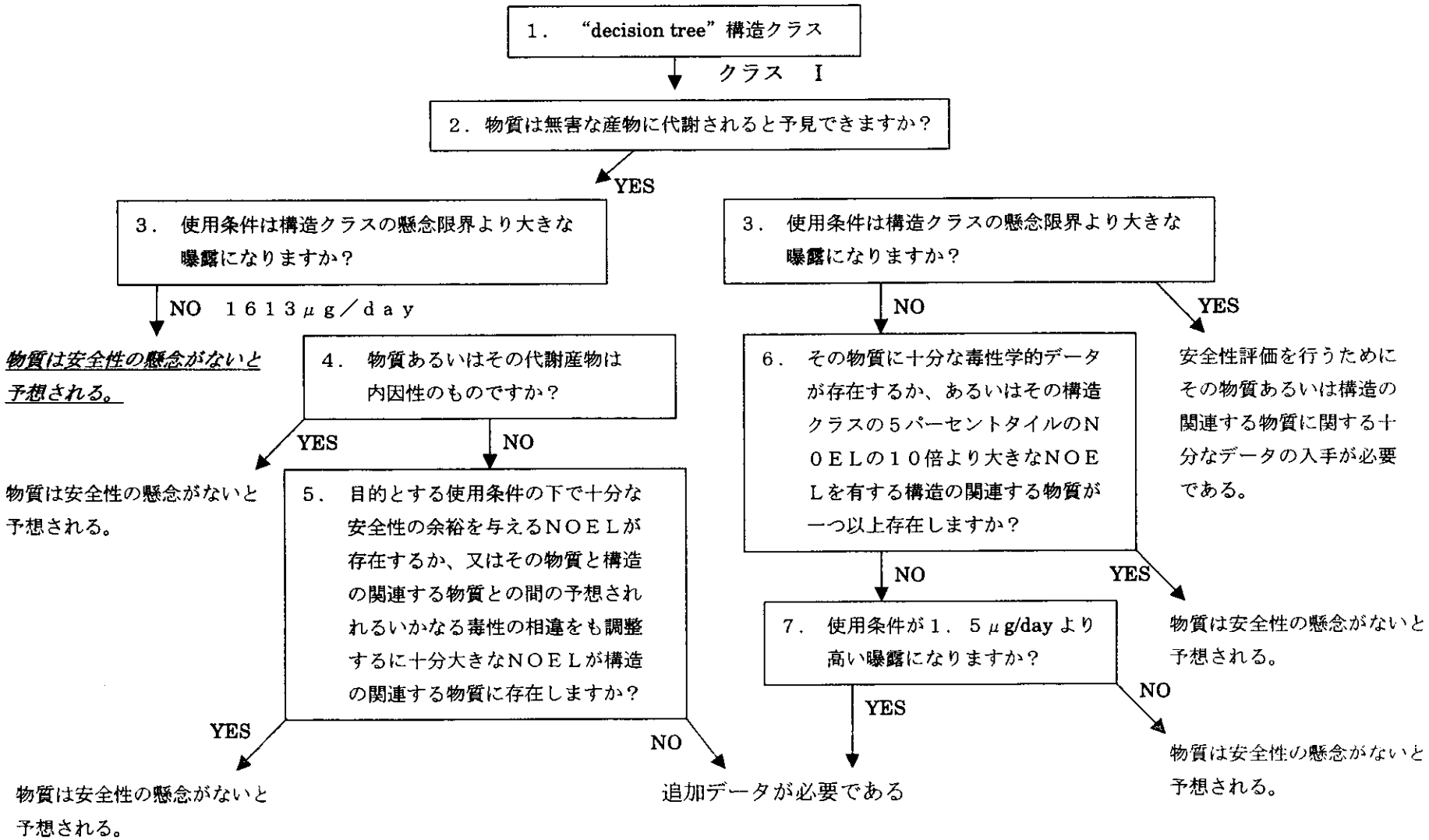
資料 10

プロピオン酸


1．“decision tree”構造クラス
クラス　I
2．物質は無害な産物に代謝されると予見できますか？
YES
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
YES　２６０８μｇ／ｄａｙ
4．物質あるいはその代謝産物は内因性のものですか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
物質は安全性の懸念がないと予想される。
5．目的とする使用条件の下で十分な安全性の余裕を与えるＮＯＥＬが存在するか、又はその物質と構造の関連する物質との間の予想されれるいかなる毒性の相違をも調整するに十分大きなＮＯＥＬが構造の関連する物質に存在しますか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
追加データが必要である
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO
6．その物質に十分な毒性学的データが存在するか、あるいはその構造クラスの５パーセントタイルのＮＯＥＬの１０倍より大きなＮＯＥＬを有する構造の関連する物質が一つ以上存在しますか？
NO
7．使用条件が１．５μg/day より高い曝露になりますか？
YES
NO
物質は安全性の懸念がないと予想される。
YES
安全性評価を行うためにその物質あるいは構造の関連する物質に関する十分なデータの入手が必要である。
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。

資料 10

ヘキサン酸


1．“decision tree”構造クラス
クラス Ⅰ
2．物質は無害な産物に代謝されると予見できますか？
YES
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO 1613μg／day
物質は安全性の懸念がないと予想される。
4．物質あるいはその代謝産物は内因性のものですか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
5．目的とする使用条件の下で十分な安全性の余裕を与えるNOELが存在するか、又はその物質と構造の関連する物質との間の予想されれるいかなる毒性の相違をも調整するに十分大きなNOELが構造の関連する物質に存在しますか？
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
NO
追加データが必要である
3．使用条件は構造クラスの懸念限界より大きな曝露になりますか？
NO
YES
安全性評価を行うためにその物質あるいは構造の関連する物質に関する十分なデータの入手が必要である。
6．その物質に十分な毒性学的データが存在するか、あるいはその構造クラスの5パーセントタイルのNOELの10倍より大きなNOELを有する構造の関連する物質が一つ以上存在しますか？
NO
YES
物質は安全性の懸念がないと予想される。
7．使用条件が1．5μg/day より高い曝露になりますか？
YES
NO
物質は安全性の懸念がないと予想される。